





# 糸魚川赤煉瓦車庫 データ

いつ頃できたものなの？

大正元年（1912）

今から104年前です。この翌年、北陸本線が全線開通します。

どんな建物なの？

イギリス積み煉瓦造で、一部に石材が使われています。小屋組は鉄骨トラス梁です。

広さは？

837㎡ありました。

同時期の建物に

どんなものがあるの？

東京駅：大正3年（1914）

横浜赤煉瓦倉庫

2号倉庫：明治44年（1911）

1号倉庫：大正2年（1913）

盛岡銀行：明治44年（1911）

☆現在の姿

昨年開通した北陸新幹線のための新駅でアルプスロのデザインを中心となった赤煉瓦車庫の三連アーチ。ここをくぐって入る「ジオパル」は先日久入館者が50万人を越えました。

この一年の間にも、ジオパーク事業がユネスコの正式事業になり、糸魚川を象徴する石、ヒスイが日本の国石になるなどいろいろなことがありました。そして今も、国石を祝うタペストリーがレンガ車庫の三連アーチの前ではためています。



ジオパル  
goo.gl/7fCoku

# ほかの赤レンガ 構造物は？

☆旧北陸線親不知トンネル

2014年に土木学会選奨土木遺産に指定された旧北陸線親不知トンネルが、遊歩道として整備され実際に中を通り抜けることができます。ようになりまし。



旧親不知  
トンネル  
goo.gl/bsAB83

煌々と照らされる設備ではなく、必要最小限の明かりのみで供用時に近い状態で歩くことができ、しかも煉瓦の積み方など、ところどころでレンガや歴史についての紹介もをている場所もあります。ちょっと不便な場所にあるのですが、最近訪れたひとが1万2千人を越えたとのこと。お近くにこられた際には、ぜひ歩いてみて下さい。

市内には他にも奴奈川神社、旧北陸線のトンネルやランプ小屋、橋脚、橋立金山精錬所跡などにも煉瓦があり、それらの見学、記録、紹介などにも、関わっていききたいと考えています。

